

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

| 科目名(副題) | 開講年次(セメスター) | 単位 | 担当者名 |
|--|----------------------------|---|-------|
| 経営管理研究A(経営管理論の主要トピック) | 1・2年次春学期 (1・2・3・4セメスター) | 2 | 川端 勇樹 |
| 授業概要 | | | |
| 経営管理論の主要トピックに関してテキストおよび関連する学術論文を輪読し、発表およびディスカッションを通して経営管理論の理解を深めることを目的とします。 | | | |
| 授業目標(到達目標) | | | |
| 経営管理論の主要トピックをその成り立ちと出典をおさえながら理解します。さらに、関連する学術論文を輪読することで、理論を使っていかに分析するのか、学術論文とはどのような構成になっているのかについて理解を深め、修士論文作成のための力を養います。 | | | |
| 授業方法 | | | |
| ①指定書の輪読とディスカッション(受講生が担当するパートのレジュメを作成し授業でプレゼンテーション、全体ディスカッション、担当教員の解説)。*受講生は発表担当以外の章も授業の前に熟読してください。 | | | |
| ②学術論文の輪読とディスカッション(指定する学術論文を担当するパートのレジュメを作成し受講生が授業でプレゼンテーション、全体ディスカッション、担当教員の解説)*受講生は発表担当以外の論文も授業の前に熟読してください。 | | | |
| 成績評価方法・基準 | | | |
| 出席、発言、プレゼンテーションなどから、研究姿勢を総合的に評価します。 | | | |
| 教科書・教材・参考文献 等 | | | |
| テキスト:高橋 他(2012年4月),『マネジメント』, 文真堂 | | | |
| 学術論文は、日本の経営学関連の学会誌より選定し、適宜指示します。 | | | |
| 質問への対応(オフィスアワー等) | | | |
| オフィスアワー:火曜4限。随時、電子メール等でも対応します。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| 項目 | 内容 | | |
| 1 | オリエンテーション | 授業目的、授業計画(シラバス)、指定書などの説明。発表担当箇所の決定。 | |
| 2 | 輪読:指定書 | 第1章(マネジメント・プロセス)、第2章(マネジメントの各論):発表およびディスカッション | |
| 3 | 輪読:指定書 | 第3章(マネジメント論の歩み)、第4章(意思決定、序章p.7-9も):発表およびディスカッション | |
| 4 | 学術論文 | 意思決定に関連する学術論文:発表およびディスカッション | |
| 5 | 輪読:指定書 | 第11章(環境マネジメント)、第5章(経営戦略:序章p.10-17も):発表およびディスカッション | |
| 6 | 学術論文 | 経営戦略に関する学術論文:発表およびディスカッション | |
| 7 | 輪読:指定書 | 第6章(経営組織):発表およびディスカッション | |
| 8 | 学術論文 | 経営組織に関する学術論文:発表およびディスカッション | |
| 9 | 輪読:指定書 | 第7章(組織行動):発表およびディスカッション | |
| 10 | 学術論文 | 組織行動に関する学術論文:発表およびディスカッション | |
| 11 | 輪読:指定書 | 第8章(ナレッジマネジメント):発表およびディスカッション | |
| 12 | 学術論文 | ナレッジマネジメントに関する学術論文 | |
| 13 | 輪読:指定書 | 第10章(文化と国際化):発表およびディスカッション | |
| 14 | 学術論文 | 国際化に関する学術論文:発表およびディスカッション | |
| 15 | 輪読:指定書および総括 | 第12章(管理者の役割)を理解したうえで、これからの経営管理と管理者について考える。 | |
| 履修者へのコメント | | | |
| ディスカッション形式を重視します。発表をアサインされた担当者は、発表資料の作成とともに、クラスにおけるディスカッションリーダーとしての役割が期待されます。また、担当者以外の履修者もディスカッションへの積極的な姿勢が求められます。履修者の数に応じて、学習範囲やアサインメントの分量を調整することも考えています。 | | | |